

## 課題

- ・環境保全活動を中心に活動する団体等は、事業費・活動資金が助成金や委託金など不安定な財源による。
- ・企業・団体・個人等からの目的を明確にした寄付と、資金を必要とする地域活動団体の情報がつながっていない。
- ・先進的な取組を行う団体等の情報が広く市内に伝えられる手段として、CATVや広報などがあるが、市民側がその企画運営に関われる仕組みがない。

## 実現を目指していく地域のイメージ

多分野連携により、ヒト、モノ、カネが地域で循環する仕組みを確立し、持続可能な社会を実現する

## 対応策の提示

<これまでのノウハウ、対応策>

NPO向けセミナーの開催、市民共同発電所の仕組み提案 等

<調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

1. 交流会成果(多分野連携事例)

- ・モリスマイル検討会(雑木林再生と障害者雇用)
- ・アグリイノベーションを考える会(地元農産物の安定供給)
- ・図書館と多分野連携(活動紹介の場提供)
- ・パブリックアクセスの実現(メディアと市民活動)

2. 研究会および分科会

- ・市民ファンド等の設立提案
- ・パブリックアクセス実行委員会の設置提案
- ・給食食材の安定供給を目指す連合体設置提案
- ・市民活動団体の支援方策提案

3. 体験ツアー企画

- ・スルーガイドとローカルガイドで役割分担
- ・顔の見える関係づくりで「人に出会える旅」を提案

<今回の調査により得られた新たな課題>

- ・中間支援センター設置、市民ファンド検討、融資の仕組みづくり、地域ポータルwebサイト開設
- ・市内団体による連合体設置、給食への食材提供、加工用野菜栽培検討
- ・地域メディアを活用した市民制作番組を検討
- ・体験ツアーの連携強化

## 調査事業の概要

1. 地域資源のマッチングコーディネート  
多分野連携促進の交流会開催(6回)
2. 東近江緑の分権改革研究会および分科会の開催
  - ①研究会の開催(3回)
  - ②分科会の開催(3回)

<テーマ>

  - 「資金調達」...市民活動を支える資金調達の基盤整備
  - 「パブリックアクセス」...市民参加のケーブルテレビ・FM等番組作り
  - 「地産地消」...東近江市産野菜を学校給食等へ安定供給する仕組み
3. e-Omi東おうみ 行ってみなはれ～東近江の旅  
市内の地域資源を活かした体験ツアーを企画し、web用データを製作
  - ・「スポーツも芸術も農業も体験できるまち」プラン
  - ・「歴史と文化に触れるちょっと大人の旅」プラン

